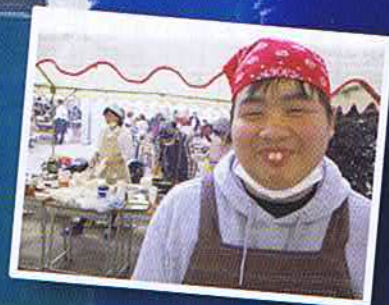


あざかぜ

第22号

○編集・発行
宮城県田尻さくら高等学校
PTA
TEL 0229-39-1051



目次

PTA会長挨拶、校長挨拶、さくらスポーツ祭、	
さくら高祭	2頁
さくら文化講演会	3頁
文化祭模擬店・PTA研修会、みやぎ高校フェスティバル	
2018、大崎支部秋季研修会	4頁
今年度の進路状況・生徒手記	5頁
卒業生に贈る言葉、編集後記	6頁





卒業生に贈る言葉

田尻さくら高校PTA会長

蓮 沼 一 彦



卒業される皆さん、ご卒業おめでとうございます。幼い頃より今まで支え、見守り、励まして来られたご両親をはじめとする保護者の皆様、この度はおめでとうございます。

入学を迎えた春、皆さんが田尻さくら高校に不安や期待を抱きつつも、先生方の優しい言葉や指導により、日に日に緊張や不安が和んでいった姿はつい先日のことの

ように感じています。その後、学校生活に馴染み、先輩方とも打ち解けていった様子も思い出されます。

就職し、自分の歩む道を見つけた人、進学し、専門的な知識や技術を身につける人、皆さんはこれから様々な進路を歩んでいくことでしょう。今また不安と期待で一杯だと思えます。しかし、これからは一人で進み乗り越えていかなければなりません。皆さんは

挑戦者です。失敗や挫折を経験することもあるでしょう。その時は、私たち家族もいます。また、田尻さくら高校の仲間や先生方に相談し、アドバイスをもらうこともできます。きつと精神的に楽になることでしょう。解決することが難しいと思えたことも、光がみえてくるでしょう。皆さんが挑戦する姿は後輩の目標となっていくことでしょう。

皆さんは人生のスタートラインに立ちました。今後の皆さんの挑戦や活躍を先生方や家族は楽しみにしています。輝かしい未来に足跡を残せるよう、皆さんの素晴らしい個性を生かし、自分をしっかりと主張して一歩ずつ人生の階段を上っていただく。



卒業おめでとうございます



校長 須藤 尚

卒業を迎える生徒のみなさん、そして、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。

今、これまでの田尻さくらでの高校生活を振り返ってみるとき、どんなシーンが思い出されるでしょうか。一人ひとり思い浮かべるものは違っていたとしても、そこには、楽しかったこととともに、苦しんだり悩んだり歯を食いしばったりしながらやがて自身の成長にこぎつけることができた貴重なシーンがそれぞれに間違いなくあるはず。

また、球技大会、さくら高祭、スポーツ祭と、それぞれの学校行事

事に、どんな思い出を刻むことができたでしょうか。今年度も学校行事においては、生徒のみなさんの熱のこもったパフォーマンスが強いインパクトを残してくれました。そんなみなさんの熱を帯びた活動の一つ一つが合わさってこそ、「学校は楽しいところ」となつて、やがて思い思いの「さくら」は「咲く」のだと実感しました。

これから卒業生のみなさんが旅立つ社会は、ある意味厳しい挑戦の時代となることは間違いのないでしょう。生産年齢人口の減少、グローバル化の進展や絶え間ない技術革新等により、社会構造や雇用

環境は大きくかつ急速に変化しており、予測困難な時代ともなってきました。また、急激な少子高齢化が進む中で成熟社会を迎えた我が国にあつては、一人一人が持続可能な社会の担い手として、その多様性を原動力とし、質的に豊かさをもった個人と社会の成長につながる新しい価値を生み出していくことも期待されています。そのように新しい時代において、社会に適応して生きていく力をつけていくために、卒業後も様々な形で食欲に学び続ける人であつてほしいと期待いたします。みなさんの活躍を心から祈ります。

最後になりますが、保護者の皆様、これまでのさまざまなご支援、本当にありがとうございます。また、PTA活動へのご理解とご協力に心から感謝申し上げます。今後とも田尻さくら高校を温かく見守っていただければ幸いです。

さくら高祭

10/19(金) 校内発表
20(土) 一般公開



JRC愛好会による募金活動



ステージ発表



パキスタンの文化紹介とチャイバー



大好評のさくら饅頭



大人気の浅乃屋



服飾文化受講生達のファッションショー

さくらスポーツ祭

11/2(金)



ハン食い競争



ムカデリレー



玉入れ



集団行動



選手宣誓



年次対抗リレー

さくら文化講演会



9月27日(木)

今年度も9月27日に2年次生徒対象に三遊亭遊三・門の六花亭遊花さんの講演会「わらってなまってコミュニケーション」が開催されました。小道具を使用し様々な情景を演ずる巧みな芸の深さに全員が感心・感動していました。最近ではほとんど聞かれない東北訛りを聞いて、懐かしく感じた生徒もいたようです。また落語「転失気」の一席では思わず顔が、思わず笑い、江戸や上方とひと味違う東北落語を堪能しました。江戸弁、関西弁、東北弁、日本語って本当に奥が深いのです。そして面白いのです。最後には、遊花さんを囲んでの記念撮影をしました。みんな笑顔になりました。

わらってなまって コミュニケーション

落語家

六花亭 遊花 氏



●「生徒の感想」●「転失気」？面白かったです。小学生の時と全く同じだったんですが、展開を知って聞いていると余計に笑いが出てきて、こんなに最近笑ったわけ？と言うくらい笑いました。落語に入る前や後の話もとてもためになりました。最後の退場の時に「ありがたうございました。」と言ったら、こちらを向いて「ありがたうございました。」と返してくれて、とても嬉しかったです。また機会があったら、遊花さんの落語をもう一度聞きたいです。(2年次 高橋 柚衣)

●最初に話していた、一人でそれぞれの役を何役もこなしてたりきって話を進めるといったのを聞きました。いつの間にか話にひきこまれていました。正直、私はあまりこつこつたものを生で聞いたことはなく、話がわからないかもしれないと自然と遠ざけていた所もありました。けれど今回実際に見てみて、こんなに面白いとは思っていませんでした。とてもすごい講演でした。(2年次 大石 真利)

南京玉すだれ

南京玉すだれ演者

吉田 澄 氏

10月4日(木)

10月4日(木)の5、6校時3多年次では講堂にて、吉田澄さんを招いて、南京玉すだれの講演を行いました。南京玉すだれは、江戸時代から伝わる、日本の大道芸の一つで、歴史のある伝統芸能です。派手な頭巾、ちゃんちゃんこと言った衣装を身にまとった演者が長さ二十〜三十センチの竹製の小型のすだれを持ち、威勢の良い口上「アさて、アさて、アさて、さて、さて、さて、さては、南京玉すだれ。」のかけ声とともに玉すだれをおもむろに取り出します。「ちよいとひねれば、ちよいとひねれば、金華さばに早変わり」といった風に、すだれの形状を次々と変えて見せます。初めて見る生徒も多く、吉田さんの芸に真剣に見入っていました。

●「生徒の感想」●南京玉すだれを始めて見ましたが、始めのかけ声の時「大きい声で」と話していましたが、実際に始めると、本当に大きな声でビックリしました。大トリの柳がすごく好きです。とてもきれいでした。吉田さんが笑顔で楽しそうにしていたので、私たちも自然と笑顔になりました。これからは是非続けて頂き、多くの人を笑顔にしてください。(3年次 佐藤 利胡)

●今日は南京玉すだれを初めて見ました。玉すだれで魚とすだれ柳を作ったのを見てとてもすばらしいと感じました。また自分でも体験してみてもっと楽しかったです。(3年次 アハマト・シヤビール)

●すだれ一つで色々な種類の芸があつて、何回見ても驚きました。このような日本の伝統芸を長く残して伝え続けてほしいと思いました。(多年次 狩野 広樹)



ひとり芝居

アクトーディレクター

高山 広 氏



12月6日(木) 月6日(木)の午後、講堂にて、高山広さんによるひとり芝居が行われました。生の肉體・声による演技の迫力に、みな心揺さぶられたようです。高山さんのお人柄・姿勢・生き方そのものに感じ入った子もいました。

●「生徒の感想」●高山さんのひとり芝居を見て、本当におもしろいと思うことができ、なんだか自分の中のモヤモヤが消えたようで、本当に勇気づけられました。世の中にはこんなにも良い人がいるのか、自分もこんな大人になりたいなと、ただ思えました。高山広さんが自分の中のヒーローになった瞬間でありました。(1年次 伊東直輝)

●今回見たひとり芝居では、人間や動物だけでなく、傘立てや花火などの「物」を演じていたのが素晴らしい。世界観がとても想像しやすかったです。高山さんの体の動きや、表情、声の大きさなどに感心しました。(1年次 清野真和斗)

●感動しました。演技力と迫力に圧倒されました。私が心に残っているお話は、最後の花火のお話です。先生(役名)の言った言葉が私の涙を流させました。「言えは良かった」じゃなく、「今から言える」というステキで強い考え方に感動しました。(1年次 千葉愛利)

さくら高祭

PTA模擬店 & PTA研修会



今年度もさくら高祭ではPTA役員の方々が中心となって模擬店を出店しました。PTA模擬店では、恒例の温かい豚汁と、新作チャーシュー丼を販売しました。特にチャーシュー丼はたっぷりのお肉が好評でした。また、今年度のPTA研修会は、「みんなで「さくら高祭」を満喫しよう」という内容から、一般公開日にはあらかじめ保護者の方に配布されていた豚汁無料券を利用して豚汁を購入してくれた方もいらっしゃいました。また、普段は一般公開されていない前夜祭・後夜祭を保護者席で観覧される方もおり、お子様方の学校行事で見せる楽しい表情やその活躍の様子をご覧いただきました。

みやぎ高校PTAフェスティバル2018



みやぎ高校フェスティバル 2018について

今年の高校フェスティバルは、10月11日(木)に太白区文化センターで開催され、蓮沼会長、宇津木先生、江草先生の3名で参加しました。講演は「落語の笑いと方言から学ぶコミュニケーション」と題して、東方落語の今野家世はね氏によるユーモアあふれるお話があり、宮城一高のPTA合唱団の合唱をはさんで、県内各支部を代表するPTA会長から日頃の活動について発表があり、最後に「今こそPTA活動の存在意義を」の大会テーマに沿った、意見交流が行われました。他の学校の活動を知ることのできる貴重な機会であり、来年以降、多くの役員の皆様にご参加頂けることを期待いたします。

大崎支部 秋季研修会 大崎市図書館



宮城
県高等
学校P
TA連
合会大
崎支部
秋季研
修会が
大崎市
図書館
を会場
として
11月21
日(水)

に開催されました。本校からは、会長の蓮沼さん、事務局の江草先生、宇津木先生が参加しました。開会行事の後、東北高P連郡山大会、全国高P連佐賀大会の有意義な報告があり、次年度は本校もぜひ参加してみたいです。また、講演は「地域を支え地域を活かす図書館へー地域の中の図書館と地域の中の学校の役割」と題して、Yahoo!知恵袋の開発にも携わったアカデミック・リソース・ガイド(株)代表取締役の岡本真氏の熱意のこもったお話を聞くことができました。自身の経験から過ごす場所・居る場所としての高校・図書館の役割の重要性が分かり、さらには学校教育と生涯学習・社会教育の相互補完が町を支え、自治体としての人口問題にまで話を切り込んでいました。今年もとても充実した研修会でした。



進路指導部

進路指導部長 浅野 良範

今年度の進路状況は、進学が五名、就職は二十五名（臨時的な仕事を含む）ですが、現在は進路未定者三名を除き、就職希望者は進路先が決定しています。ここ数年の売り手市場のこともあり、一時期の厳しさとは比べものにならない程、好調な状態が続いています。来年度卒業の可能性がある人は、ずっとこの状況が続くとも限らないので、早いうちから進路について考えてください。

進学について

今年の進学者は、四大が一名で指定校推薦での進学、専門学校は二名でAO入試での進学でした。また、今年は大入試センター試験受験者が二名いました。二名受験というのは田尻さくら高校開校以来初めての出来事でした。ここで気を抜くことなく、精一杯最後まで努力してほしいものです。一般受験での国公立大進学は簡単にできるものではありません。国公立大への進学を考えている生徒は入学後から、各教科の先生方に個別にお願いして、授業の空き時間等を利用して受験勉強を始めておいた方がよいと思います。進学した彼らには、進学先でのさらなる努力と飛躍を期待しています。

就職について

例年と同様に管内・県内を希望する生徒が多い状況でした。求人倍率も三・五倍を超えている中で受験でした。本校の生徒は、応募前企業見学に参加し、自分が将来働くであろう企業の調査研究に取り組んでいました。その努力が報われて、年内での内定率は九割を超えました。

最後になりますが、進学者も就職者も卒業後のこれからが本当の勝負の時だと思います。就職については、外国人労働者のこともあるので、安易に離職しても簡単に再就職できるという考えは捨ててほしいです。世の中は絶えず変化しています。保護者の方々にお願いします。今後も温かい「見守り」をお願いします。今後も皆様のご活躍をお祈り申し上げます。



就職代表

高橋 結映



3年次の5月、最初の面談があり、進学・就職のどちらにするか考え始めました。悩んだ結果、5月末に就職エントリーを提出しました。しかし、求人票をみても何をすればいいのか、どこに就職したいのか、決められずにいました。面接指導で質問を受けても上手には答えられず、その場、その場で対応するのも大変でした。7月になると合同企業説明会があり、製造業の会社をまわりお話を聞きました。夏休みになると、気になった会社を見学に行きました。ここなら安心して働ける環境だと思い、是非、ケミコン宮城に就職したいと考えるようになりました。対応してくださる方々の笑顔が強く印象に残っています。

8月、履歴書を提出し面接練習を続けました。その他にも筆記試験があり出来ることを一生懸命に取り組み、就職試験にのぞみました。面接練習は「やって良かった」と思っています。毎日、空き時間や放課後、先生方をお願いし練習しました。「遅刻・欠席・早退を一度もしていない」皆勤であること、「ボランティア活動」に毎年参加していることをアピールするようにアドバイスを受けました。やればやるほど自信とレベルアップする自分を感じました。努力した甲斐もあり、本番でも練習と同じ様に話すことが出来、無事内定をいただきました。

1・2年次の皆さん、まだ先のことだと思っているかもしれませんが、今のうちから考えてみてください。後から慌てたりすることなく取り組みます。面接練習は、何度もすることが大切です。頑張ってください。辛いことや悩みごとは、先生や友人に相談しましょう。

進路目標を達成して



私の進路決定先は、仙台大原簿記情報公務員専門学校です。2年次のはじめ頃から進路について考えていました。具体的な行動は、3年次になってからです。5月にオープンキャンパスに参加し、6月上旬には、「進学エントリー」を進路指導部に提出しました。しかし、この時には、はっきりとした志望校は決まっていませんでした。7月になり、進学することを両親に賛成してもらい、学びたいものは何かを考えました。「高校で学習した商業科目を究めてみたい」という気持ちから進学先として希望コースと受験方法を決めました。夏休みが終わると提出書類を書き、先生方の予定を伺いながら面接練習を続けました。自己推薦で受験し10月に一次合格、11月に本出願をし、中旬には合格通知書と手続用の書類が届きました。

進路活動で苦労したことは、面接で話せるようになる

ことでした。志望の理由や自分について書き出しました。本番に備え、先生方に面接練習をお願いしました。何度も何度も繰り返すうちに、少しずつ話すことが出来るようになってきました。練習をして「よかった」と感じています。進学、就職、どちらにしても情報を集め、見たり聞いたりして調べることが大切だと思いました。進学に限ったことではありませんが、親や保護者に援助してもらった場合は、しっかりと話し合うことが必要だと思います。あまりあせらず、早い時期から進路決定に向けて活動を行いましょう。若者らしい人生を生きていくために。



進学代表

大久保圭捺

